

掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター

(平成25年5月1日開院)

開設者／掛川市・袋井市病院企業団
所在地／〒436-8555 掛川市菖蒲ヶ池1-1
URL／<http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp>

病床数	500床
医師数	144名
指導医数	35名
入院患者／日	389名
外来患者／日	1,160名
救急医療／日	49名



企業長兼院長
宮地 正彦



【臨床研修理念】

地域に愛され、信頼される病院の一員として、医師としての人格をかん養し、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付けるとともに、思いやりの心を持った医師を育成する。

【基本方針】

1. 当院の医療体制は、患者が中心となって成り立っていることを理解する。
2. 患者の将来に良い影響を与えられるように、他職種と協力して最善の医療を提供できるようになる。
3. 指導医あるいは上級医の指導の下、主体的に診療に参画し、主治医としての責務を自覚する。
4. 生涯にわたる自己学習の習慣を身につけ、症例発表や論文作成などの学術活動を積極的に行う。
5. 医師、看護師及びその他の医療従事者をはじめとする病院職員全員が研修医教育に参加する。

診療科目

(標榜診療科目) 内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液腫瘍内科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科・皮膚腫瘍科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線診断科、腫瘍放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、精神科、病理診断科、臨床検査科、救急科

処 遇

身分	非常勤職員（会計年度任用職員）			
給与	1年次 基本給／月	385,000円	2年次 基本給／月	430,000円
	1年次 賞与／年	1,030,000円	2年次 賞与／年	1,600,000円
	諸手当	時間外勤務手当、通勤手当、日直手当（15,000円～25,000円）、宿直手当（20,000円～30,000円）、退職手当		
	1年次基準支給額／年	600万円～650万円程度	2年次基準支給額／年	750万円～800万円程度
宿舍	無（家賃補助有）	当直	有（月4回程度）	
保険	有（静岡県市町村職員共済組合、厚生年金保険、労災保険適用、雇用保険）			

令和5年度 実績

臨床研修医（初期研修医）の研修プログラム

- **プログラム名** 中東遠総合医療センター医師臨床研修プログラム
- **募集定員** 14名（予定数）
- **協力型病院** 菊川市立総合病院、公立森町病院、浜松医科大学附属病院
- **協力施設** 森町家庭医療クリニック、菊川市家庭医療センター、御前崎市家庭医療センター

プログラムの特色

- ① 静岡県内トップクラスの救急症例数と指導体制
救急部門（救命救急センター）は、救急科医師（救急専門医を含む）の指導により、ERの外来診療からICUの高度集中治療まで充実した研修が可能です。救急車搬送患者数は静岡県内でもトップクラスで、近隣に同規模病院が少ないことから、24時間365日、さまざまな症例を経験することができます。ウォークインも救急車も、研修医がファーストタッチします。
- ② 研修医主体の勉強会・研修会で確実なレベルアップ
救急外来・日常診療での研修医のレベルアップを図るべく、さまざまな勉強会・研修会を企画しています。研修医自らが企画を立てて準備し勉強会を主催しており、研修医のニーズに合わせて、今必要な知識、より実践的な知識を提供できるようサポートしています。
当院独自の研修医到達度試験は大きな特徴の一つであり、知識や技術の習得状況を確認しながら、確実なレベルアップを図ることができます。内科会や臨床病理検討会（CPC）では、専門医のサポートを得て研修医が症例を発表することで、学会発表の練習にも役立てていくことができます。
- ③ 病院全体で研修医をサポート
毎年、医学生が当院での研修を選択する理由の上位に、「雰囲気良さ」が上げられます。指導医だけでなく、看護師やコメディカルも積極的に研修医教育に関わり、病院全体で研修医を育てる環境が整っています。
- ④ 大学病院並みの充実の施設設備
当院は、平成25年に開院した病院で、施設は新しく、da VinciやPET-CTなどの最新鋭の医療設備が整っています。
- ⑤ 主要な診療科が揃い、幅広く自由度の高い研修を提供
静岡県中東遠医療圏（人口約47万人）の基幹病院として、主要な診療科が揃っていることで、さまざまな症例を幅広く経験することができます。ローテート志望から専門科志望まで、自由度の高い研修を提供しています。
- ⑥ 全国各地の大学から集まる研修医
当院の研修医は全国各地の大学から集まっており、特定の大学に偏りが無いのが特徴で、誰でも研修を行いやすい雰囲気があります。
- ⑦ 初期研修から専門研修まで継続的な指導
当院では、初期研修から専門研修までの継続的な研修プログラムを構築しています。

● 研修科目と研修期間

必修科目	内科24週、救急部門12週、地域医療4週 外科4週、整形外科4週、脳神経外科4週、小児科4週、産婦人科4週、麻酔科4週、精神科4週
選択必修科目	脳神経外科、泌尿器科、皮膚科・皮膚腫瘍科の中から1科4週
オリエンテーション・基礎研修	4週
選択科目	24週（研修医の希望により決定）

病院からのメッセージ

当院は、“日本トップクラスの臨床研修病院”を目指しています。そのために、より魅力的な、実効性のある研修プログラムを構築し、全医療者が臨床診療だけでなく教育にも重きをおき、高い目標を達成できるような体制を整えています。当院の研修医は、研修医基本的な能力評価試験（全国の研修医が参加する試験）で、毎年上位の成績をおさめています（2021年度は参加642病院中15位）。当院の研修医教育の強化に向けた取り組みの成果が、客観的にも表れています。

企業長兼院長 宮地 正彦

応募手続

応募資格	医師免許取得者または取得予定者で医師臨床研修マッチングに参加する者			
必要書類	履歴書（兼）申込書、卒業（見込）証明書、成績証明書			
募集締切	2025年8月下旬			
選考方法	面接（予定）			
選考時期	2025年8月			
応募連絡先	担当課	臨床研修センター	担当者	増田・大村
	T E L	0537-28-9501	F A X	0537-28-8971
	E-mail	kensyu@chutoen-hp.shizuoka.jp		